

環境科学院 地球圏科学専攻
修士論文公開発表会プログラム

【第1日目】 令和6年2月2日(金)

●座長:三寺 史夫(大気海洋物理学・気候力学コース 教授)

- 9:40 - 10:00 島田 岳登(大気海洋物理学・気候力学コース)
「アムンゼン海/ベリングスハウゼン海への周極深層水の流入と風の関係について」
- 10:00 - 10:20 庄子 竜生(大気海洋物理学・気候力学コース)
「台風発電帆船の気象に応じた運航と実現性の検討の基礎」
- 10:20 - 10:40 森下 怜(大気海洋物理学・気候力学コース)
「南極アデリーランド沖における沿岸海洋構造と底層水特性の変化機構」

< 20 分 休 憩 >

●座長:深町 康(大気海洋物理学・気候力学コース 教授)

- 11:00 - 11:20 鵜飼 真汰(雪氷・寒冷圏科学コース)
「グリーンランド北西部カナック氷河における UAV を用いた表面地形観測」
- 11:20 - 11:40 高野 茉依(大気海洋物理学・気候力学コース)
「日本海上における筋状降雪雲の日変動」
- 11:40 - 12:00 梅津 晴希(雪氷・寒冷圏科学コース)
「サロベツ原野のミズゴケ域・ササ域の熱収支モデル」
- 12:00 - 12:20 山之内 美彩(雪氷・寒冷圏科学コース)
「北海道における冬季夜間の気温低下量に対する地形の影響」

< お 昼 休 み 12:20 - 13:20 >

●座長:河谷 芳雄(大気海洋物理学・気候力学コース 准教授)

13:20 - 13:40 中田 英太朗(大気海洋物理学・気候力学コース)

「人工衛星観測に基づいて解析された海面水温データの台風状況下における誤差分布」

13:40 - 14:00 若尾 和哉(大気海洋物理学・気候力学コース)

「九州地方における強雨域の空間的特徴と近年の増加要因の解明」

14:00 - 14:20 小林 稔(生物地球化学コース)

「西部北極海の過去 300 年間の sedaDNA からみた環境変化」

< 20 分 休 憩 >

●座長:渡辺 豊(生物地球化学コース 准教授)

14:40 - 15:00 永瀬 絵理(大気海洋物理学・気候力学コース)

「南極ケーブダンレー沖での高密度水生成から底層水形成に至る過程」

15:00 - 15:20 森吉 紘己(大気海洋物理学・気候力学コース)

「ウェッデル海域の領域モデル構築」

15:20 - 15:40 林 大祐(大気海洋物理学・気候力学コース)

「南極沿岸起源の海水の行方」

【第2日目】 令和6年2月5日(月)

●座長: 亀山 宗彦(生物地球化学コース 准教授)

9:40 - 10:00 森島 舜(大気海洋物理学・気候力学コース)

「海洋データ同化に基づく水循環変化の研究」

10:00 - 10:20 大谷 若葉(大気海洋物理学・気候力学コース)

「西グリーンランド域の領域海洋モデル開発
-大西洋起源水変動及び氷河融解変動の理解-」

10:20 - 10:40 張 策(大気海洋物理学・気候力学コース)

「偏東風波動によるとされる台風発生の特徴」

< 20 分 休 憩 >

●座長: 滝沢 侑子(生物地球化学コース 准教授)

11:00 - 11:20 今津 拓郎(雪氷・寒冷圏科学コース)

「グリーンランド北西部カナック氷河の変動 -現地観測と数値実験-」

11:20 - 11:40 中津 裕也(生物地球化学コース)

「厚岸湾堆積物中の難分解性有機物の起源と収支」

11:40 - 12:00 前野 将人(大気海洋物理学・気候力学コース)

「混合層モデルを用いたコスモノートポリニヤの生成機構の解明」

< お 昼 休 み 12:00 - 13:00 >

●座長: 杉山 慎(雪氷・寒冷圏科学コース 教授)

13:00 - 13:20 三浦 樹(大気海洋物理学・気候力学コース)

「Two-way teleconnections の理解に向けた海面水温偏差場に対する大規模大気循環場の応答」

13:20 - 13:40 佐藤 健(雪氷・寒冷圏科学コース)

「グリーンランド北西部カナック氷河における氷レーダ探査」

13:40 - 14:00 内田 翔馬(生物地球化学コース)

「西部北極海における過去 270 年間のバイオマーカーからみた高解像度の環境変化」

< 20 分 休 憩 >

●座長:的場 澄人(雪氷・寒冷圏科学コース 助教)

14:20 - 14:40 田之上 夕姫(生物地球化学コース)

「南部オホーツク海における一次生産過程の評価:モデリング、衛星リモートセンシング、
現場観測データを用いた複合解析」

14:40 - 15:00 高野 響生(大気海洋物理学・気候力学コース)

「サハリン島南端における冷水の湧昇メカニズム:海底境界層の効果」

15:00 - 15:20 BIKMULLINA Zarina(生物地球化学コース)

「Establishment of analytical method for bile acids in soil
(土壤中胆汁酸の分析方法の確立)」

●令和5年9月修了生

- ・令和5年7月25日(火) 9:30~9:50
- ・場 所: 環境科学院 大講義室 D201
- ・座長: 堀之内 武 (大気海洋物理学・気候力学コース 教授)

9:30 - 9:50 DANGLETERRE Tom Daniel Bob (雪氷・寒冷圏科学コース)

「Influence of basal input data on spin-up simulations of the Antarctic ice sheet
(南極氷床のスピンアップシミュレーションにおける底面境界条件の影響)」